

10月の園だより

プール

暑い暑い夏でした。プールに入った日も回数も多かったように思います。9月の終わりだということに、夕方のプールも「寒い」と言わずにみんなよく入り続けてきました。お水の気持ち良さをどんなに感じていたことでしょう。

9月に入ってからにはプールの前に体を動かすこともあり、ほてった体でプールに行っていました。出てきた子どもたちの清々し表情と鼻歌交じりの「気持ちいいよ」の言葉にこちらも笑みがこぼれました。子どもの身体を触るとしっかり冷えていて、クーラーを寒いというのがわかるくらいでした。

9月29日がプール納めです。水と仲良くなれた夏でした。



体を動かす

少しずつ季節の変化が感じられ、運動遊びをしやすいもなってきました。子どもたちのやる気が園庭から伝わってきます。幼児クラスの前で行っている5歳児の跳び箱をする姿は、真剣に取り組み跳べた喜びが園のみんなの励みになっているように思います。

3歳のかえるの神様からのジャンプに挑戦も、4歳の登り棒も、2歳のあおむしくんジャンプに棒つかまりも、どれもできるようになりたいとの気持ちと、大人の応援と見守りで、子どもたちの向上心を感じます。できた時の嬉しさはその子だけのものじゃなく、友だちも大人も歓声をあげています。大中里こども園のみんなですぐに喜ぶ姿に心の成長も感じています。



子どもって、すごい。

子どもってできるようになる力がすごいと感じます。プールをあんなに嫌がっていたのに、顔つけも浮くことも、泳いでもいる！

竹馬に乗り出した5歳児が「できない」と言っていたのに2-3日後には1歩2歩と前進している。

靴を履くのもやっとだった2歳児が、足の屈伸を上手に使いあおむしくん(70~75cm)の高さからジャンプしている。

子どもにはやってみようかと伝えているけれど、大人は何か挑戦してこんなに短期間でできるようにはなかなかならない。だから子どもってすごい！

子どもと接する大人はみんな子どもの力のすごさを感じます。





APPの会

暑い中、たくさんの力を出してくださりありがとうございました。
子どもたちと気持ちよく園庭で遊んでいます。

園長 京極 桃子

かおりさん(主幹保育教諭)からのメッセージ

「これから うんどう会を始めます」
リハーサルの後、3歳児が5歳児のまねをして台の上に登って大きい声で言っていました。

小さいお友だちも大きい子の真似をしてやってみる。園庭で「できたー!!」「すごい!!」とあちこちで歓声があがっています。毎日それぞれの挑戦があり、今とても盛り上がってきています。

